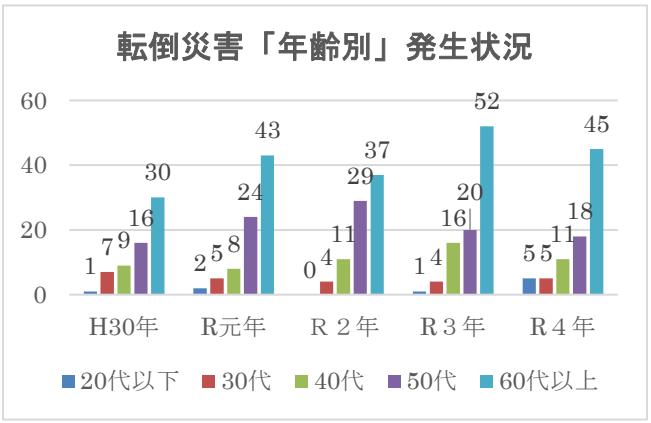
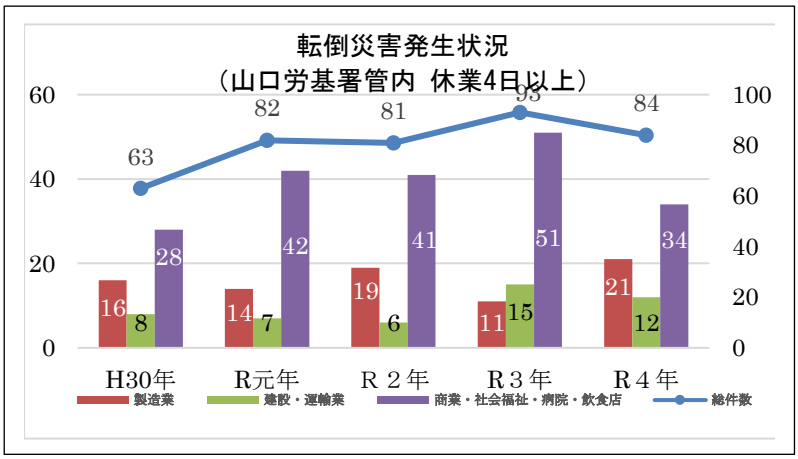
職場での転倒災害を防止しましょう

１　山口労働基準監督署管内での「転倒災害」の発生状況

転倒災害は、業種横断的に発生していますが、特に社会福祉施設、小売業等で増加しています。

災害の特徴は、４５歳以上の中高年齢者で多い傾向にあり、６０代以上では災害の約６割が休業１か月以上となっています。





２　山口労働基準監督署管内での令和４年の転倒災害発生事例（抜粋）

年	業　種	発　生　状　況
令和４年	製造業	通路にあった台車につまづいて転倒（指の骨折）（休業１ヶ月）
	建設業	部材整理の際、部材につまづいて転倒（大腿部骨折）（休業２ヶ月）
	運送業	荷台から後ろ向きで降りる際、足を滑らせ転倒（胸部骨折）（休業１ヶ月）
	小売業	通路にあったパレットにつまづいて転倒（手首骨折）（休業３ヶ月）
	社会福祉施設	移動の際、濡れていたスロープで足を滑らせて転倒、（足の骨折）（休業１ヶ月）

３　転倒災害防止対策のポイント!!

①設備管理面の対策[整理・整頓・清掃・清潔]

- □　歩行場所に物を放置しない
- □　床面の汚れ（水、油、粉等）を取り除く
- □　床面の凹凸、段差等の解消

②転倒しにくい作業方法[あせらない　急ぐ時ほど　落ち着いて」

- □　時間に余裕を持って行動
- □　滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行
- □　足元が見えにくい状態で作業しない

③その他の対策

- □　作業に適した靴の着用と靴の定期的な点検
- □　職場の危険マップの作成による危険情報の共有
- □　転倒危険場所にステッカー等で注意喚起
- □　体操による筋力維持・アップ

山口労働基準監督署（R5.6）

あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう

	チェック項目	チェック
1	身の回りの整理・整頓を行っていますか？通路、階段、出口に物を放置していませんか	
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	
3	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか	
4	安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	
5	ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	
6	職場巡視を行い、通路、階段などの状況をチェックしていますか	
7	荷物を持ちすぎて足元が見えないことはありませんか	
8	ポケットに手を入れながら、人と話しながら、携帯電話を使いながら歩いていませんか	
9	作業靴は、滑りにくさを考えて選んでいますか	
10	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	

＜追加対策として＞
働く高齢者の特性に配慮したエイジフレンドリーな職場づくりを目指しましょう。

□通路を含め、作業場所の照度の確保を行う。
□階段には、手すりを設け、可能な限り、通路の段差を解消する。
□解消できない危険箇所（戸口の段差等）に標識等で注意喚起を行う。
□防滑靴を利用させる。